

日進中ダンスでギネス挑戦

日進市の日進中の全校生徒が十日、ヒップホップダンスの基本動作の一つである「ランニングマンドランス」を同時に踊った人数でギネス世界記録に挑戦した。体育大会に合わせて行われた。

(平木友見子)



複数が同時に踊る人数の世界記録は昨年十一月、メキシコのLG電子が認定された四百九十七人。発案したのは、三年生の高橋和也さん(二五)。「令和の始まりに今までにないことをやって、日進中の歴史をつくりたい」と、昨年度下半期の生徒会長選挙にギネス記録挑戦を掲げて当選。準備を続けるため、本年度上半期も立候補して二期連続して当選し、現在は副会長を務める。

学校でダンスの授業があるため、みんながやりやすいだろうと「ランニングマンドランス」を選択。生徒会で見本の映像を撮影し、全クラスにビデオ放送をしたり、昼休みに体育館で練習をしたりして、校内に踊りを周知していった。また、ギネス公式認定員を呼ばないため、教員たちも地域の人たちに声を掛け、必



学校一丸、地域も協力 年内にも結果

要な調査員二十人と監視員二人を集めるなど、学校が一丸となって本番に臨んだ。

当日は、全校生徒六百八十八人のうち六百七十四人が記録に挑戦。監視員らが見守る中、難度の異なる二種類のダンスを一分間ずつ踊った。そのうち、調査員からきちんと踊ることができていないと判断された生徒数を除いた人数は、正式Aが六百四十二人、正式Bが六百六十人で、この記録が認定申請される。

高橋さんは「やる前はいろいろ心配が多かったが、楽しく思いつきりできた」と話し、「失格しないよう膨大なルールを全部覚えるのが大変だったが、ここまですっ飛ばしたからには世界一になりたい」と結果を心待ちにしていた。

今回の映像記録や証明書などをそろえて今月末に申請。早ければ年内にも結果が通知されるという。

①ギネス記録に挑戦し、ランニングマンドランスを踊った日進中の生徒たち ②調査員が見守る中、踊る生徒 いずれも日進市の日進中で